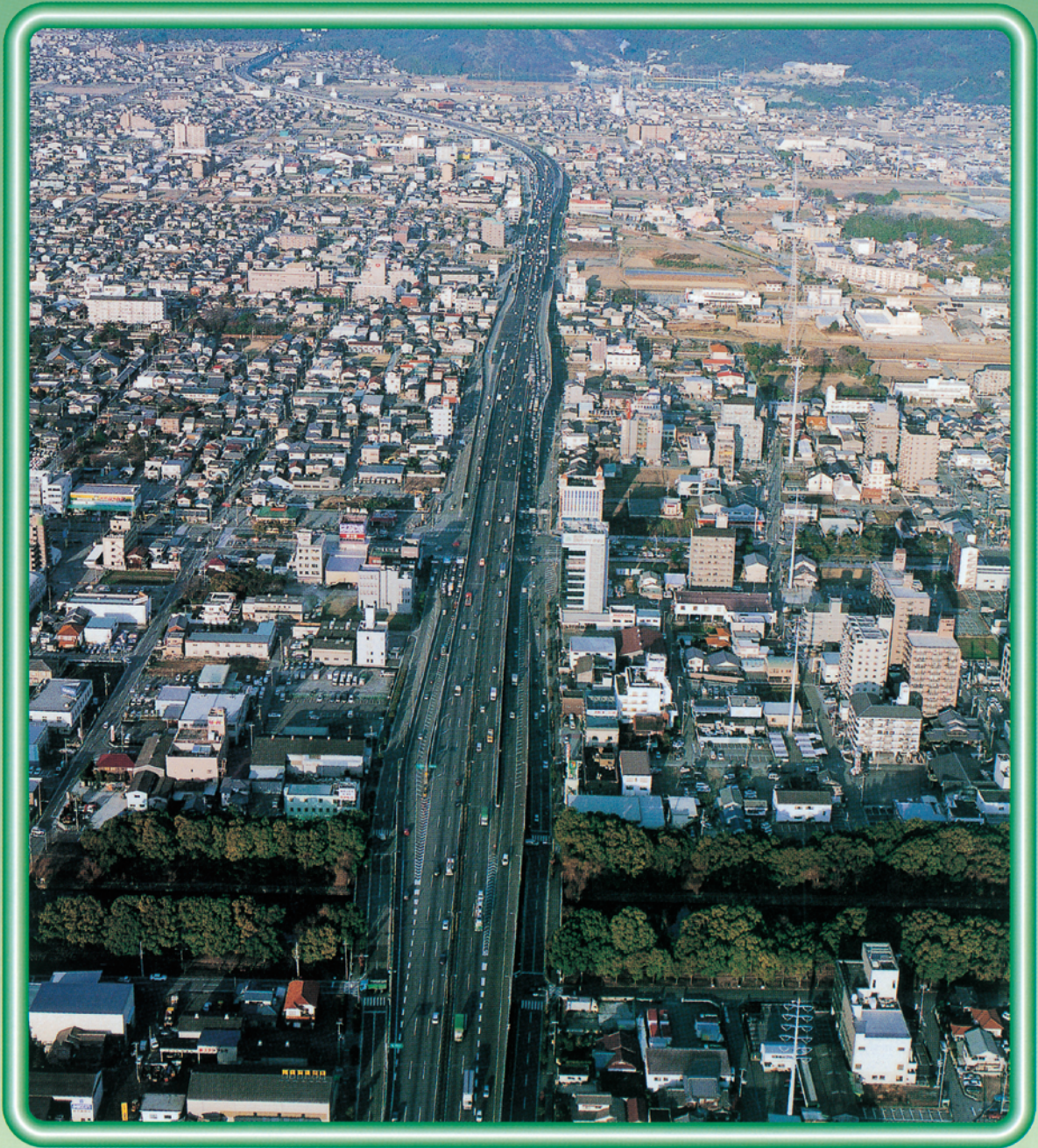


国道2号

姫路バイパス

HIMEJI BYPASS



国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

事業の背景

大阪市を起点とし、北九州に至る延長約671Kmの国道2号は、京阪神地方と中国、九州を結ぶ主要幹線道路である。

この内、播磨地方の国道2号沿線諸都市は、京阪神都市圏とのつながりが強く自動車交通需要も東へ行くに従い多くなる傾向にある。このため、国道2号の整備も東側より進められ、加古川バイパス(12.2Km)については昭和49年3月に全線供用がなされた。

当バイパスは、これに接続するバイパスであり、京阪神都市圏と播磨地域を結ぶとともに、姫路市中心市街地部の著しい交通混雑を解消し、併せて将来の交通需要に対応できる道路の整備が要請されたことから自動車専用道路として計画され、整備を実施してきたものである。

事業の概要

当バイパスは高砂市阿弥陀町魚橋を起点として揖保郡太子町山田に至る延長18.4Kmの路線である。

計画に当たっては、将来における交通需要を把握した上で次表に示す車線数を採用するとともに、市街地部については連続高架、田園部については盛土構造とし、都市計画及び土地利用との整合を図るため、市街地部については1車線ないし2車線の側道、田園部については1車線の側道を設置することとしたものである。

昭和41年度より事業に着手し、昭和50年12月には全線の暫定供用をおこない、昭和60年12月には4車線供用を、平成2年3月には高砂西ランプ～姫路南ランプ区間で6車線供用を行っている。

また別所ランプにおいて、円滑な物流道路を確保し、交通結節点としての機能強化等を図るため、平成23年4月に改良事業に着手し、平成27年3月にフルランプとして開通しました。

1. 区間別車線数

| 区 間 | 延 長 | 車線数 |
|---------------|-------|-----|
| 高砂北ランプ～高砂西ランプ | 2.9Km | 4車線 |
| 高砂西ランプ～姫路南ランプ | 8.9Km | 6車線 |
| 姫路南ランプ～太子東ランプ | 6.6Km | 4車線 |

2. 構造規格

| | 第一期区間 (姫路東～中地) | 第二期区間 (高砂北～姫路東) | 第三期区間 (中地～太子東) |
|-------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| 延 長 | 5.6Km | 7.7Km | 5.1Km |
| 構造規格 | 第1種3級 V=80Km/h | | |
| 車道幅員 | 3.5m*4車線 3.5m*6車線 | 3.5m*4車線 3.5m*6車線 | 3.5m*4車線 |
| 最 小 曲線半径 | 1,400m | 500m | 500m |
| 最 急 縦断半径 | 2.8% | 2.5% | 4.0% |

3. 設置ランプ

| 名 称 | 構 造 | 接続道路 | ランプ間 距 離 |
|----------------|---------------------------------|------------------|-------------|
| 高 砂 北 ラ ン プ | 上り方向 ハーフランプ 下り方向 ONランプ | 国道2号 | 2.9km |
| 高 砂 西 ラ ン プ | 下り方向 ハーフランプ | 国道250号 (明姫幹線) | |
| 別所ランプ | フルランプ | 市道別所86号 | 2.3km |
| 姫 路 東 ラ ン プ | フルランプ | 国道312号 | 2.5km |
| 市川ランプ | 上り方向 ハーフランプ | 都計大日線 | 3.0km |
| 姫 路 南 ラ ン プ | フルランプ | 市道幹第6号 | 1.1km |
| 中地ランプ | フルランプ | 市道幹第23号 | 1.5km |
| 姫 路 西 ラ ン プ | フルランプ | 市道八幡182号 | 3.5km |
| 太 子 東 ラ ン プ | フルランプ | 国道2号 | 1.6km |

事業の経緯

| | | | |
|-------------|-------------|------------|----------------------|
| 昭和41年度 | 事業化 | 昭和50年12月 | 全線暫定供用 |
| 昭和42年11月14日 | 都市計画決定 | 昭和52年6月28日 | 都市計画変更 |
| 昭和45年10月 | 第一期区間工事着手 | 昭和60年12月3日 | 全線4車線供用 |
| 昭和46年度 | 第二期区間工事着手 | 平成2年3月 | 6車線供用(高砂西ランプ～姫路南ランプ) |
| 昭和47年3月 | 第三期区間工事着手 | 平成27年3月 | 別所ランプフルランプにて供用 |
| 昭和48年7月 | 第一期区間一部暫定供用 | 令和6年3月 | 苫編地区北側側道橋完成 |

なお、姫路バイパス事業促進のため第二期区間及び、中地ランプ～姫路西ランプ間の下り側2車線分は、日本道路公団の一般有料道路事業として国土交通省が受託施工したものである。

位置図

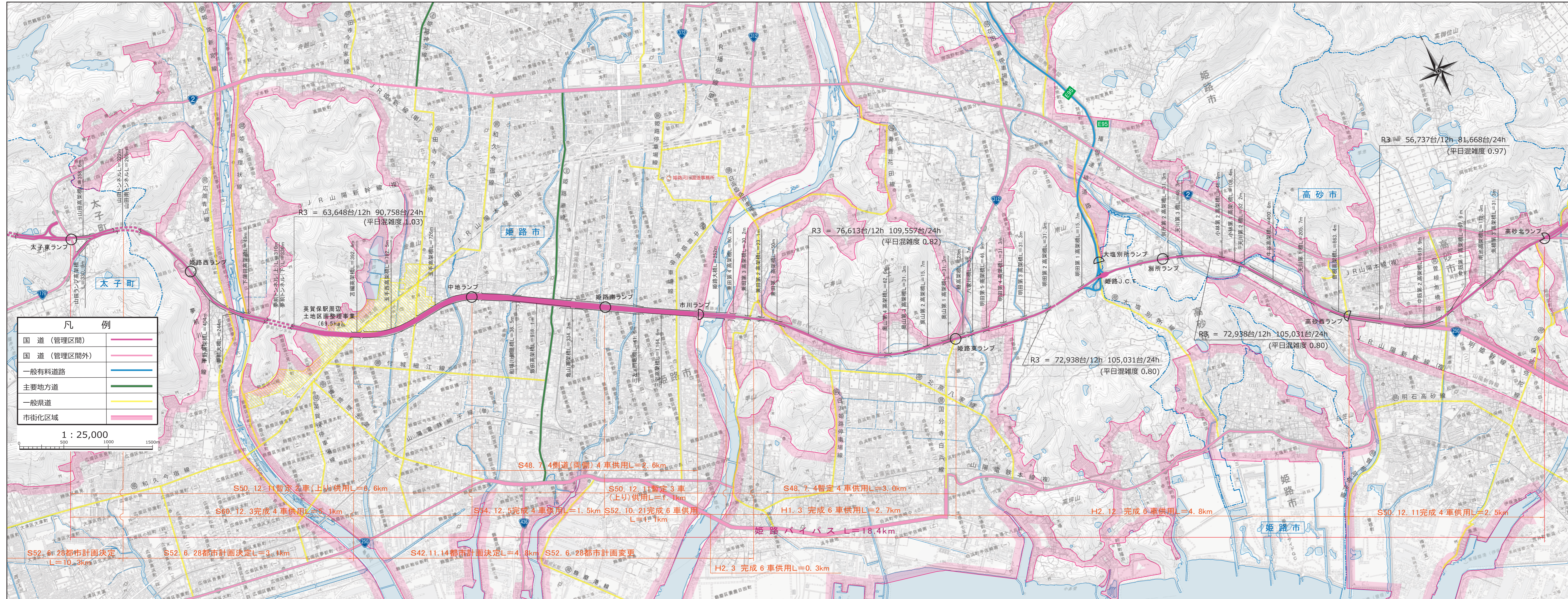


主要構造物諸元

(橋長 50m以上)

| 区間 | 名称 | 上部工 | 下部工 | | 幅員 (m) | 延長 (m) | 摘要 | |
|----|----------|-------|------------|--------|---------------------|--------|----------|---------|
| | | | 橋脚 | 基礎工(杭) | | | | |
| 2期 | 魚橋第1高架橋 | PG、BG | RC単柱、鋼ラーメン | MP | 17.5 (4車) | 377.0 | 現2号、山陽本線 | |
| | 魚橋第2高架橋 | PC | RC単柱 | PCP、VP | 17.5 (4車) | 162.7 | | |
| | 南池高架橋 | PC | RC単柱 | PCP、VP | 17.5 (4車) | 178.3 | | |
| | 中筋第1高架橋 | PC | RC単柱 | PCP、直接 | 17.5 (4車) | 67.6 | | |
| | 中筋第2高架橋 | PG | RC、PC単柱 | VP | 17.5 (4車) | 619.9 | | 明姫幹線等 |
| | 曾根高架橋 | PC、PG | RC、PC単柱 | PCP、VP | 17.5 (4~6) ~24.5 | 863.4 | | 明姫幹線、県道 |
| | 天川第1橋 | PG | RC単柱 | PCP、直接 | 24.5 (6車) | 205.7 | | 天川 |
| | 牛谷高架橋 | PC | RC単柱 | PCP | 24.5 (6車) | 400.8 | | |
| | 天川第2橋 | PC | RC単柱 | 直接基礎 | 24.5 (6車) | 52.2 | | 天川 |
| | 小林第一高架橋 | PC | RC単柱 | 直接基礎 | 24.5 (6車) | 108.4 | | |
| | 八家川橋 | PC | RC単柱 | MP | 24.5 (6車) | 53.7 | | 八家川 |
| 1期 | 奥山第四高架橋 | PC | RC単柱 | PCP | 25.5 (6車) | 62.6 | 県道 | |
| | 兼田跨道橋 | PG | RC単柱 | MP | 25.5 (6車) | 50.0 | | |
| | 兼田第四高架橋 | PC | RC門形ラーメン | 直接基礎 | 32.5 (8車) | 60.2 | | |
| | 姫路大橋 | PG | RC単柱 | 井筒 | 32.5 (8車) | 252.0 | | 市川 |
| | 三宅高架橋 | PC | RC単柱、門形 | VP、直接 | 17.5 (4~6) ~24.5 | 1164.6 | | (二次施工分) |
| | 亀山跨道橋 | PC、HS | RC単柱、門形 | VP | 17.5 (4車) | 319.3 | | 山陽電鉄、市道 |
| | 飯田高架橋 | PC | RC単柱、門形 | VP | 17.5 (4車) | 916.1 | | (二次施工分) |
| 3期 | 玉手高架橋 | PC | PC単柱、門形 | MP | 17.5 (4車) | 1452.8 | 山陽本線、県道 | |
| | 苫編高架橋 | PC、PG | RC単柱 | MP | 17.5 (4車) | 392.5 | | |
| | 夢前大橋 | PG | RC単柱 | 井筒 | 17.5 (4車) | 244.0 | | 夢前川 |
| | 下野高架橋 | PC | RC単柱 | VP | 17.5 (4車) | 404.1 | | |
| | 山田高架橋 | PG | RC単柱 | PCP、VP | 17.5 (4車) | 358.6 | | 市道 |
| | 山田ランプ高架橋 | PG | RC単柱 | PCP | 7.0 (1車) | 330.9 | | 市道 |
| | 夢前トンネル | | 巻厚 50cm | | 8.5×2 | 310.0 | | |
| | 山田トンネル | | 巻厚 50cm | 60cm | 8.5×2 | 322.0 | | |

注) PG: 単純鈹桁、BG: 単純箱桁、HS: ホロースラブ、MP: 鋼管杭、PCP: PC杭、VP: ペノト杭



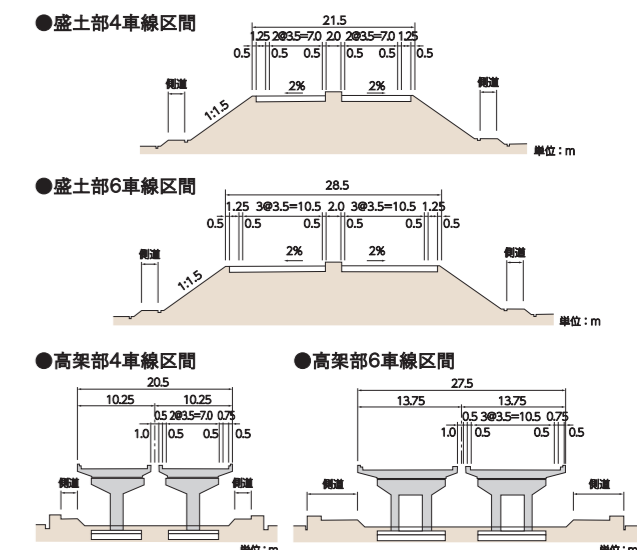
姫路市の概要

播磨地域の中心都市である姫路市は、大化の改新以来国府がおかれ、古くから神戸・岡山・豊岡・鳥取方面に通じる交通の要衝として重要な役割を果たしてきました。また、羽柴秀吉が姫路城を築いてから城下町として、播磨地域の政治の中心地として栄えた。

現在も、国道2号、29号、312号、372号等の主要幹線道路の結節点として交通の要衝となっておりとともに、西播磨テクノポリスの母都市として位置づけられるなど今後も播磨地域の中心都市として発展が期待されている。

| | |
|------|---------------------------------|
| 面積 | 534.35km ² |
| 人口 | 521,490人 (R6.2.1時点) |
| 代表産業 | 鉄工、化学、石油、マツチ製造、鎖製造、ゴルフ用具製造、皮革業等 |
| 観光 | 姫路城、名古山、手柄山、書写山、セントラルパーク等 |

標準横断図



▲世界文化遺産 国宝姫路城(白鷺城)



▲姫路駅周辺整備



姫路河川国道事務所



国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

〒670-0947 姫路市北条1丁目250番地

TEL.079-282-8211 (代表)

<https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/>

話そうはりま



姫路河川国道事務所 Xアカウント
X @mlit_himeji



道路緊急ダイヤル

道路の異常を発見したらお知らせ下さい

落下物 落石 雪崩 路面の 道路施設
落木 落木 気象災害 穴ぼこ の破損 など

全国共通
電話番号 #9910